

ネギ「湘南一本」の作型開発

野菜作物研究部

神奈川の湘南地域では、従来から食味が良い「湘南ネギ」が栽培されてきました。しかし、直売が進展するなかで、消費者から「販売期間をもっと長くしてほしい。」という要望が強くなってきました。そこで、当所育成のネギ新品種「湘南一本」を用いて、収穫期間を大幅に拡大するための栽培技術体系の開発に取り組みました。

まず、収穫期を早めるため9月中旬には種したところ、冬の寒さに感応して花芽ができ、春先には70%以上の株がとう立ちしてしまいました。そこで、10月下旬には種・育苗し、定植後はビニル被覆で保温して冬場の生育を促進し、気温が上がってくる春先にはビニル被覆を閉め切って花芽ができないような高温処理をしてみたところ、予想通り生育は進み、とう立ちは抑えられ、結果として収穫期は7月上旬まで大幅に前進しました。これらの技術を体系化した結果、これまで11月から翌2月までの4ヵ月程度であった収穫・出荷期間を7月から翌2月までの8ヵ月にまで拡大できる技術として体系化することができました。



湘南一本の栽培の様子

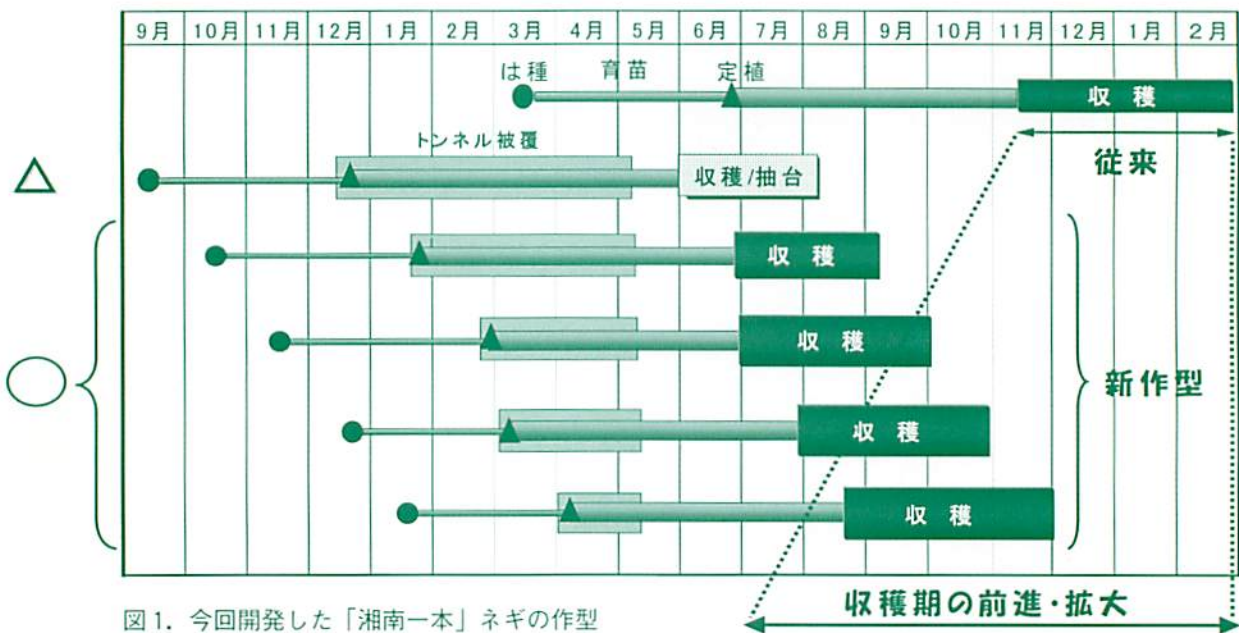


図1. 今回開発した「湘南一本」ネギの作型

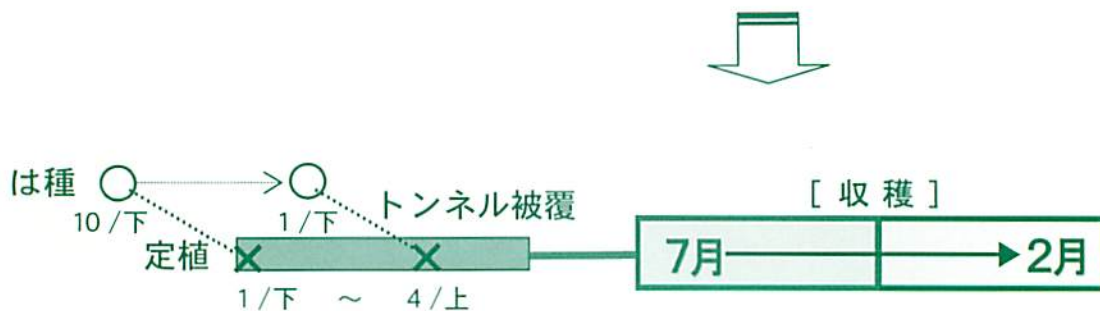


図2. 体系化された栽培暦